

会 議 録

会議名	平成30年度 第1回豊田市入札監視委員会		
日 時	平成30年7月3日(火) 午後3時30分～午後5時		
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 52会議室		
出席者	委員長 曾我部 博之	総務部	検査監 八木 重善
	委 員 河野 伊知郎	契約課	課 長 能見 秀行
	岡田 千絵		副課長 永田 浩晃
			担当長 岸上 和美
			担当長 村井 幸介
			担当長 中條 圭祐
		上下水道局総務課	課 長 水谷 隆治
			副課長 石川 直美
	【欠席】委員 丹羽 忠彦		担当長 成瀬 孝紀

1 総務部検査監あいさつ

2 委員長選出

曾我部博之委員を委員長に選出

3 報告事項

(1) 平成29年度の契約状況

◇市長部局

質 問	回 答
土木関係では人材が足りないという話を聞 くが、業者から技術者が足りないという話 は把握しているのか。	直接、大幅に技術者が不足している話は聞いてい ないが、高齢化は顕著であり、平成29年度から 総合評価方式で若手技術者に加点する制度を導入 した。堅調な製造業に就労者が流れる傾向はある。
大型案件が数年に1回あるが、平準化され ているのか。	契約は数年に1回になるが、予算執行上は毎年の 支払いになるため、予算の平準化は図られている。
不調不成立になった案件はどうしているの か。	工事では参加要件を緩和して再発注したり、修繕 として発注したりしている。修繕だと提出書類が 簡素化されるなど手続きが簡易な部分がある。
提出書類の緩和などは不調不成立の対策に ならないか。	建設業法の関係や工事品質の確保のため、すべて の工事で簡略化することは難しい部分もある。

◇上下水道局

質 問	回 答
業務委託の契約金額が上昇した理由が新規 の大型案件があったとの説明だったが、数 年後に再度入札が行われるのか。	新規のうち3年の2案件は継続の予定がない。5 年契約の案件は、5年毎に再度契約を行う予定で ある。

電気工事の不調不成立が多い理由は何か。	平成28年度の電気工事の不調不成立は20件中2件の10%だったが、平成29年度は発注件数が減っていて、不調の状況は予定価格超過であった。詳しい理由については不明である。
鋼構造物工事の随意契約の案件は、本体の橋の工事と一体で発注はできないのか。	橋の工事は市長部局の発注で水道管の架け替え工事との一体での発注は難しい。

(2) 入札参加停止等の状況

質 問	回 答
起訴されたことだけで入札参加停止になるのか。	起訴された時点でという具体的な規定はないが、他自治体の状況や事件の社会的影響を考慮した。
起訴されて無実になった場合は。	無実になった時点で参加停止を解除する。
2か月という期間は、豊田市や業者にとって影響は大きいものなのか。	発注案件により影響はあるが、受発注自体にそれほど大きい影響があるとは考えていない。公表することで社会的制裁という意味合いもある。

4 審議事項

(1) 平成30年3月議会・6月議会案件

質 問	回 答
交渉をしながら随意契約を進めるやり方はどのようにしているのか。	業者から入札額を聞き取り、予定価格以下になった時点で入札額を決定する。金額を徐々に下げながら交渉するため高い落札率になる場合が多い。
プロポーザル方式を採用する決まりはあるのか。	一律の規定はなく、決まりではないが、案件に応じて、価格のみならず、より良い業者を選ぶ必要がある場合はプロポーザルを選択している。
消防車両は参加者数が多い割に落札率が高いのはなぜか。	参考見積もりから積算しているが、業者も高い金額で落札したい意思も働き、高い落札率になったと考えられる。
施工体制点が0点でも逆転することはあるのか。	失格基準を下回った場合は失格となる。調査基準価格を下回った場合は、施工体制点20点が取れない可能性もある。施工体制点が0点の場合は、現実的には逆転は難しい状況である。

(2) 委員選定案件等

質 問	回 答
地元調整とは。	工事の時期や時間、安全管理等について複数の自治区・住民と調整することである。
小規模な工事は年度後半に多いのか。	1,500万円に限らないが、年度後半は工期の状況から、比較的、小規模な工事の発注が多くなる。

5 その他

- (1) 第2回委員会の開催予定について
第2回開催予定は、11月を予定